

いよいよ三代目摩耶ケーブルがデビュー!

リニューアル工事中だったまやビューラインがいよいよ3月30日に運転再開します。昭和30年から57年間活躍してきた2代目摩耶ケーブルに変わって、新しく3代目の摩耶ケーブルがお目見えします。長い間親しまれた2代目ケーブルのレトロなデザインを生かしつつ、下り側には展望窓がつき、夜景が見やすくなりました。また車内の電力はリチウム電池から供給されるので、従来のトローリー（架線）がなくなり、視界がアップ。車内照明はLEDの間接照明を採用し、夜景へのワクワク感を高めてくれます。シートは車体と同じ配色で、摩耶山掬星台にちなんで星座の模様がプリントされています。車両と同時に駅もリニューアルされ、星の駅はバーベキューができるテラスのある多目的空間として生まれ変わる予定です。春から初夏にかけて摩耶山は新緑が美しい季節を迎え、山上ではリュックサックマーケットなど人気のイベントが始まります。新しくなったまやビューラインで是非とも摩耶山にご来山ください。



3代目摩耶ケーブル(左:にじあじさい号 右:ゆめあじさい号)

緑化・飾花を推進しよう!

灘区には、区のシンボルである花・木が3つあるのをご存知でしょうか。区の花が「マリーゴールド」、区の木が「桜」、そして、区の歴史の花が「菜の花」です。区内の公園や広場などではこれらの花・木を植えることで、区の花を活かしたまちづくりが進められています。また、自治会や婦人会などの地域団体が主体となって取り組む、まちかど緑化・飾花を支援するため、市民花壇への助成やコンクールを行っています。

ご家庭でも、庭先やベランダのプランターなどに「マリーゴールド」や「菜の花」を植え、花に満ちあふれたうおいと魅力あふれる灘区にしてみませんか?区の花「マリーゴールド」は比較的育てやすい花といわれています。育て方を灘区ホームページでチェックし、ご家庭で育ててみてはいかがでしょうか。



平成24年度市民花壇コンクール最優秀賞に輝いた灘南通西郷川

灘の人再発見「なだだな」

なだ人紹介!! (第5回)

灘区では、灘区在住や灘区内で活躍されている方で、地域のことを語る方や一芸に秀でる方などを「なだ人」として登録し、利用希望があった区内の団体等に派遣しています。



灘の人再発見



ひがしおか けんじ 東岡 賢司さん

1970年4月神戸市生まれ。1999年に沖縄の三味線を体験。その後、津軽三味線を学ぶ。現在、コンクールや福祉施設等で演奏活動を通じて、津軽三味線の魅力を伝えている。

「なだ人」に登録したきっかけは、出来るだけ多くの方にこの素晴らしい三味線を聞いていただきたくて登録させていただきました。

三味線は天然の皮革を使用しており、撥は鼈甲から作られるため値が張ります。最近では、吉田兄弟等の人気から楽器屋さんでも開発が進み、かなり身近な物になってきました。演奏方法も打楽器のように叩き弾くので、ストレスが一気に発散でき、とても素晴らしい楽器です。



はなき なおひこ 花木 直彦さん

1938年神戸市灘区生まれ。1961年神戸大学文学部国史学科卒業後、市内の中学校・高校で26年間の教師生活を経て、現在、敏馬神社宮司(住吉神社・若宮神社宮司兼務)。灘区南部の歴史について、講演活動を行っている。

灘区南部の歴史を皆さんに知ってもらいたいとの気持ちから「なだ人」に登録しました。神戸といえば、異人館や平清盛が有名ですが、灘区南部はそれよりもはるか昔、記紀万葉の時代から歌に詠まれ、外国との交流の中で重要な港として知られていました。まさに、神戸の港の歴史は灘区南部から始まったのです。そのような、灘区南部の歴史を皆さんに知っていただき、灘区をもっと愛していただければと考えています。

なだ人の利用の詳細については、灘区役所で配布している「灘区まちの語り部推進事業活用ガイド」をご覧ください。ガイドは灘区役所のホームページ上にも掲載しています。



灘区ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/nada/>

第三火曜は「ちょっと気配り」参加の日
一ちょっとした気配りで住みよい灘区をー



神戸市広報印刷物登録
平成24年第232-2号
(広報印刷物規格B-1類)

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

なだだな

灘のまちを知るための情報誌

2013.3
Vol.
31

編集 灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
発行 灘区役所

灘の高架

灘のまちなんでも座談会

灘の高架

灘のまちなんでも座談会

3本の鉄道が東西に走る灘区。それぞれ古い歴史があります
高架は人と交通の交差する場所。今回のなだなのは灘区の鉄道高架に
スポットを当て、めくるめく灘の高架にまつわる話をお送りします。



- JR六甲道駅が地上にあったころ、覚えてます？
- 高架ができる前は道路と交差するところは全部踏切で、列車が通過するときは待たされたね。貨物列車が長かった。
- 一度数えたけど貨物は50両以上あったと思う。
- 開かずの踏切ですね。
- 八幡線は渋滞したね。バスもなかなか踏切渡れなかった。
- 交通事故もあったなあ。
- 高架ができたんはいつごろですか？
- 六甲道付近は昭和41年から工事が始まって昭和51年に完成。
- 路盤がコンクリートで新幹線みたいやった。
- 同時に駅前に「メイン六甲」ができましたね。
- 六甲道を東の副都心に、言うてたころやな。
- 高架下にショッピングセンターもできた。
- 「チャオ六甲道」ちゃいますか。
- 居酒屋も何軒もあったな。
- 高架ができて石屋川トンネル^{※1}がなくなった。
- トンネルなんかあったんですか？
- 石屋川の川底に掘ったトンネル。
- 今は灘百選のサインが建ってます。



- 阪急電車の高架ができたんが三宮乗り入れが始まった昭和11年。
- 三宮が終点と違うかったんですか？
- 元々は上筒井が神戸の終点やった。
- また中途半端なところに。
- そのころの上筒井は神戸市電の終点もあって、原田の森の関西学院や神戸高商（現神戸大学）が近くて賑わってたんやで。
- 王子公園駅の西にあるアーチ橋^{※2}は三宮乗り入れ当時からのもので。
- 設計したのは西宮球場を設計した阿部美樹志という人で、日本初めての鉄筋コンクリート高架橋設計者です。
- 歴史のある貴重なアーチなんやな。
- 西からあのアーチをくぐると、灘に帰ってきたなあいう気がする。
- ゲートみたいなもんですね。
- 灘駅北のアーチにはイラストが描かれました。
- 阪急王子公園駅の高架下は「ラクテンチ」やね。
- あったあった、ラクテンチのネオンサイン。
- 地ソースの店とかユニークな店も多いね。
- ギャラリーもあるし。
- 高架下は、おもしろい形の建物もいろいろありますよ。



- 阪神電車も地上を走ってたんですね。
- 新在家駅も昔はもっと南にあってんで。
- 43号線沿いを走ってたんですよ。
- 新在家駅は最初は東明駅やった。今の石屋川車庫のあたりにあった。
- 大石駅は今の西郷地域福祉センターの辺。
- 軌道跡は公園（西灘公園、大石東町公園、浜田公園）になってますね。
- 地上線の頃は踏切がいっぱいあった。
- 西郷小学校は授業中、踏切の音がうるさかったそうや。
- 石屋川駅～西灘駅が高架になったのは昭和42年ですね。
- 阪神の高架下にもいろんな店ありましたね。
- 大石にはBSショッピングセンターがあったね。
- 1階が食品店で2階が本屋さんとか文房具店があった。
- レコード屋さんもありましたね。
- 駅の下にはスーパーもあったね。
- グリーンストアね。グリーンスタンプ集めた！
- お地藏さんのほこら^{※3}もありますよ。
- 阪神の高架下の空き区画を使った新しいプロジェクトも始まるんですよ。
- 新しい飲食店を募集したり、イベントが開催されたりするらしいよ。
- 高架下もこれからおもしろくなりそうやね。



- ※1 石屋川トンネル
石屋川は川床が平地よりも高い天井川だったので、明治7年、川床の下にトンネルを造り、鉄道を敷設。昭和51年11月、鉄道が高架になって、石屋川の上を走るようになった。
- ※2 原田拱橋・灘拱橋
阪急神戸線の三宮乗り入れにともない、昭和11年に2つの優美なデザインのアーチ橋が完成。コンクリート造の利点を活かした構造美に加え、石造風の装飾が各所に施され、この地域のランドマークにもなっている。
- ※3 聖母地藏尊
珍しい高架下のお地藏さん。よく見るとなんと聖母マリア。もともとこのあたりにあったショッピングセンターの名前からBS地藏尊とも呼ばれるユニークなお地藏さん。

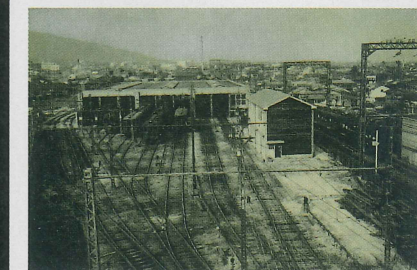
灘鉄道高架史

- 明治7年5月
鉄道院線（現JR）大阪～神戸間開通
- 明治38年4月
阪神電鉄大阪～神戸間開通
- 大正9年7月
阪神急行電鉄（現阪急電鉄）大阪～神戸間開通
- 昭和6年10月
省線（現JR）灘駅～鷹取駅間の高架完成
- 昭和11年4月
阪急電鉄西灘駅（現王子公園駅）～三宮駅間高架線の運転を開始



高架線の西灘分岐 [写真提供] 阪急電鉄

- 昭和39年4月
阪神電鉄新在家駅付近の高架工事着工



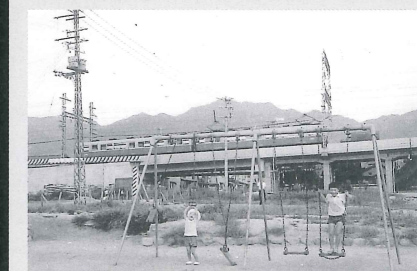
高架化前の新在家車庫 [写真提供] 阪神電気鉄道

- 昭和41年
国鉄（現JR）六甲道駅付近の高架着工



高架化前の八幡線の渋滞

- 昭和42年8月
阪神電鉄石屋川駅～西灘駅間の高架完成



高架化直後の西灘公園

- 昭和51年10月
国鉄（現JR）六甲道駅付近の高架完成



高架化された六甲道駅とメイン六甲